



YA本研究会だより

2018. 12
VOL. 6



カレンダーも最後の一枚。糸島にはつくしが生えたり、夏日を観測したい…冬を思わせぬ陽気に包まれて、平成最後の師走がラストスパートをかけています。いかがお過ごしでしょう。

そんな今年最後のYA委員会は、なんと出席者2名🐾そりゃ、猫も杓子も忙しい時分です。部活も同じ仲よし高校生2人組と司書2名の、ちょっぴり大人の座談会と化したりして♡ちょっと寂しいけれど、たまにはこんなのもいい感じ。いつもより広く感じる部屋に、ココアの香りが立ち込めます🐾ただし、勝負に挑む緊張は同じ。



司書総なめ！
チャンフはこちら

★ピリオバトル★今回のラインナップはこちら！

★「バムとケロのにちようび」 ★「バムとケロのさむいあさ」

★「川柳少女」 ★「あたしの一生」 ★「カーネーション」



「あたしの一生」ティ・レティ/著、江國 香織/訳

飛鳥新社 2006.1 ¥1,400 (933.7L) 所蔵:本館

《あらすじ》

うれしい時も、悲しい時も、あたしたちは一つだ。いまも、そして、いつも…。愛のために正直に生きた1匹の猫。動物と暮らすことが醸し出す、ストレートで、強く、正確で、濃密な愛の物語。

《おすすめのポイント》

「あたし」という一人称が物語るように、気高さやフシない軸を持ち…でも愛に忠実。なんて魅惑的なんでしょう！私たちが猫に翻弄されているのだと思わざるを得ません。そしてまた、このような形の愛を前に、愛について考えずにいられません。号泣する準備はできていますか？



「カーネーション」いとう みく/著

くもん出版 2017.5 ¥1,400 (YF1) 所蔵:本館

《あらすじ》

いつか母は、あたしを愛してくれると信じている。そんなことは無理だとわかっているけど、あたしは、あたしの深いところで、いまも願っている。母に愛されない娘・娘を愛せない母を描いた挑戦作。

《おすすめのポイント》

人にはいろいろな事情があるのです。それに折り合いをつけて、なんとかうまく立ち回ろうとして。未来に光は差せど、ハッピーエンドで終わらない…この読了感、何と言えよう。装丁の美しさから切なさや滲み出ています。心抉られ、このように描かれる意図を考えさせられる一冊。

今回のテーマ展示は「YA委員が年末・年始に読みたい本」です！

行く年来る年のごゆるりとした時間のおともに、ぜひ、お手にお取りください♡

それでは、みなさん、よいお年を…See you next Battle！！

